

部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

部局名	総務部 危機管理監	部局長名	新 屋 義 文
-----	-----------	------	---------

部 局 の 経 営 資 源	当初予算	8 . 2 5 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		1 1 人	1 人	1 2 人

部局の使命 (組織の存在価値)	<p>危機管理監（防災安全課）の使命は、市民の生命、身体及び財産を守るため、危機管理意識の高揚に努め、災害に強く、誰もが安全で安心して暮せるまちづくりを市民と協働して推進することである。</p>	組織目標像	<p>【施策の目標像】 < 3 年後 > 市民の安全、安心を確保するため、防災関係機関、事業者、地区コミュニティ協議会等との連携、協力関係を確立し、災害等に対する迅速で的確な対応ができています。 一斉放送のできる防災行政無線の整備により、正確で迅速な防災情報の提供を行っている。 地域による防災、防犯の体制が確立している。</p> <p>【組織の目標像】 < 3 年後 > 説明責任を果たせる職員，組織 あらゆる災害等に即応できる危機管理対応力の高い職員，組織</p>
--------------------	---	-------	--

平成 2 0 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標（めざそう値）	具体的な取組内容	進捗状況（年度中間）	年度末の達成状況
危機管理体制の整備	全課室による危機事象に対する危機管理マニュアルの策定	所管課に対する策定指導 職員に対する不当要求研修会の実施		
防災体制の強化	自主防災組織の組織率 8 0 % 以上 自主防災組織の訓練実施率 2 5 % 以上	未組織自治会等への設立呼びかけ及び出前講座の実施 自主防災組織への消防局と連携した訓練実施の呼びかけ 市民サポーター研修会の実施 自前の防災リーダー養成講座開催に向けた調査・研究		
	災害時要援護者避難支援プランの年度内策定	庁内検討部会（任意）の設置及び外部機関との調整		

平成20年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

	防災行政無線基幹部の年度内整備	防災行政無線のデジタル化による屋外拡声子局までの整備		
	避難所設置基準の年度内策定	各避難所の施設及び設備設置状況の把握 避難所としての適否判断及び設備整備への対応		
	災害応急時支援協定の締結	新たに食糧、生活物資に係る支援協定の締結		
原子力広報・安全対策の推進	川内原子力発電所見学会参加者 100人以上 職員の原子力関係専門研修受講者数 20人以上	親子及び周辺市民等の川内原子力発電所見学会並びに県外研修の実施 市民を対象とする原子力関係講座の実施 対策本部要員の専門研修派遣		
交通安全対策の推進	市交通安全計画の目標値の達成 ・事故発生件数 500件以下 ・死者数 6人以下 ・負傷者数 630人以下	交通安全教室の実施 各種広報、啓発活動の実施		
防犯対策の推進	刑法犯件数 550件以下 子どもへの声かけ事案件数 10件以下	地区コミュニティ協議会への自主防犯組織結成の呼びかけ(設立目標:延べ30協議会) 地区コミュニティ協議会への青パト配備の推進(配備目標:延べ15台) 職員に対する青色防犯パトロール講習会の開催(受講者目標:150人)		
国民保護計画の推進	国民保護計画・資料編の年度内作成	武力攻撃事態別、発生場所別の避難要領パターンの作成		
年度中間総括				
年度末総括				